

平成26年度気仙沼市社会福祉協議会事業報告

1. 報告（概要）

少子・高齢化の進行や個々人の多様な生活スタイルによって、地域社会や家庭環境が大きく変化し、家庭や地域社会の「絆」、「つながり」、「支え合い」が薄れ、加えて、地方経済の低迷や雇用環境の悪化から孤立死や自殺、引きこもりなどの社会的課題が顕在化するなど、地域社会における生活課題は深刻化しています。また、東日本大震災から4年が経過し、市においては、災害公営住宅や防災集団移転事業による新たな住居の確保、土地区画整理事業、水産加工団地造成事業等による生活基盤や産業基盤の再生が本格化し、復興の動きが実感でき将来への明るい兆しが見えてきたところであります。

このような中、地域福祉を推進する中核的な役割を担う民間福祉団体として「誰もがその人らしく暮らすことができる地域社会の実現」のため、「地域福祉の推進」「介護・福祉活動の拠点の整備・活用」「人材確保・育成」「組織管理体制の強化」「福祉サービス提供における「安心・安全」の確保」の5つを重点目標として、気仙沼市はじめ、地区社協、福祉諸団体、ボランティア、NPO等幅広い関係者との連携・協働の下、地域福祉の充実に努めました。

重点目標1つ目の「地域福祉の推進」では、生活相談所や民生委員・児童委員、法テラス等関係機関との連携の下、相談・支援体制の強化を図り各種生活相談に応じるとともに、コープフードバンクとの協定による食料品の提供を通じ、生活困窮者への支援を行いました。

また、地域コミュニティにおける繋がりへの再構築については、地区社協と復興支援センター、サポートセンター等が連携・協力し、地域行事への支援や見守り、ミニデイサービスへの支援を行いました。

2つ目の「介護・福祉活動の拠点の整備・活用」では、職員が各種研修会へ参加し、利用者への提供サービスの向上のために技術の取得に努めるとともに、管理者会議や職員会議を通じ施設間の連携を密にしながら、優良なサービス提供に努めるとともに、家族からの相談に応じ開かれた拠点づくりに努めました。

また、指定管理施設においては、利用者の安心安全のため改善や改修について及び本吉地域の活動拠点である本吉老人福祉センターの利活用について市に対し、申し入れを行いました。

3つ目の「人材確保・育成」では、ハローワークのほか、あらゆる方法・手段により積極的に求人募集を行い安定的な人材確保に努めましたが、依然として厳しい状況の事業所もあることから、今後も引き続き、関係機関と連携し、人材確保に努めます。

また、職員の資質向上のため喀痰吸引等研修等事業所毎の専門的な知識、技術の習得に努めました。

なお、厳しい財政状況の中で、嘱託職員の処遇改善を図りました。

4つ目の「組織管理体制の強化」では、管理者会議等の開催や会長・監事による事業所訪問を行い職員の意識啓発に努めました。法人運営に当たっては、補助金、委託金、寄付金等の自主的な財源の確保が依然として厳しく、不足財源を介護保険事業に頼らざるを得ない状況にありますが、その介護保険事業の県の実地指導において、「モニタリング等の運営基準減算」により、介護報酬減算という本会としての責任を問われる事態を引き起こしたことは遺憾であり、役職員一丸となって信頼回復に努めなければなりません。

本会で展開している介護保険事業や障害者支援事業は、利用者との契約に基づくサービスの提供であり、法令遵守に立っての良質なサービスの提供が求められるところであり、経営責任や経営判断を担うことができる組織体制、業務管理体制の構築を図るとともに社協組織が地域住民からの理解と信頼を得るため、さらなる意識強化を図ります。

5つ目の「福祉サービス提供における「安心・安全」の確保」においては、地区社協との連携の下、「復興支援センター」、「サポートセンター」、「気仙沼西地区高齢者相談室」所属職員により孤立や生活不活発病の防止のための、訪問活動と入居者交流事業により地域住民がより安心・安全な暮らしが送れるよう、支援しました。

また、施設・事業所における感染症、衛生管理にも気を配り、福祉サービスの提供における「安心・安全」の確保に努めました。

このほか、気仙沼市当局はじめ福祉団体、ボランティア、NPO、企業の皆様方のご理解とご協力を頂き、地域福祉を支える組織基盤の充実、住民参加による福祉サービスの推進などについて、地域に根付いた福祉活動の推進を進めてきましたが、社会福祉協議会が実施いたします地域福祉活動には、多くの皆様方からの会費や善意による寄付金品等を主な財源としているところでありますことから、法令遵守はもとより地域福祉を推進する団体であることの意義を再確認しなければなりません。

以下、平成26年度の事業について、報告します。

1. 法人運営事業

事業名	内 容
理事会の開催	【概要】地域福祉の担い手としてふさわしい事業を進めるため、理事会、評議員会を中心として事業を推進しました。 ① 平成 26 年 5 月 24 日（土）午後 1 時 30 分 出席者 理事 14 名（内、書面表決 5 名）【現員数 14 名】 監事 3 名 1 平成 25 年度事業報告及び資金収支決算について【認定】 2 平成 26 年度資金収支補正予算（案）について【同意】 3 認知症対応型共同生活介護事業所運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 4 気仙沼市みのりの園指定生活介護事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 5 気仙沼市やすらぎ在宅介護支援センター管理規程を廃止する規程制定について【同意】
	② 平成 26 年 9 月 26 日（金） 出席者 理事 14 名（内、書面表決 3 名）【現員数 14 名】 監事 1 名 1 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律及び介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係規程の整理に関する規程制定について【同意】 2 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律及び介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係規程の整備に関する規程制定について【同意】 3 地域社会における共生の実現に向けた新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係規程の整備に関する規程制定について【同意】 4 認知証対応型共同生活介護事業所運営規程の全部を改正する規程制定について【同意】 5 グループホーム「桑の実」運営推進会議要綱の一部を改正する規程制定について【同意】 6 一景島在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】
	③ 平成 27 年 1 月 21 日（水）午後 1 時 30 分 出席者 理事 12 名 【現員数 14 名】 監事 1 名 1 補欠評議員の選任同意について【同意】 2 定款の一部を変更する規程制定について【同意】 3 福祉振興基金設置規程の全部を改正する規程制定について【同意】 4 施設整備基金規程の制定について【同意】

	5 気仙沼西地区高齢者相談室運営要綱の制定について【同意】 6 職名及び職員給与等に関する規程の一部を改正する規程制定について【同意】 7 老人福祉センター管理規程の一部を改正する規程制定について【同意】 8 気仙沼市福寿荘デイサービスセンター指定通所介護（指定介護予防通所介護）事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 9 やすらぎデイサービスセンター指定通所介護（指定介護予防通所介護）事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 10 大谷デイサービスセンター指定通所介護（指定介護予防通所介護）事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 11 訪問入浴サービスもとよし指定訪問入浴介護（指定介護予防訪問入浴介護）事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 12 もとよし福祉用具貸与事業所指定福祉用具貸与（指定介護予防福祉用具貸与）事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 13 平成 26 年度補正予算（案）について【同意】 14 平成 27 年度事業計画策定方針及び予算編成方針（案）について【同意】
	④ 平成 27 年 3 月 18 日（水）午後 1 時 30 分 出席者 理事 15 名（内、書面表決 4 名）【現員数 16 名】 監事 1 名 1 補欠評議員の選任同意について【同意】 2 気仙沼市福寿荘デイサービスセンター指定通所介護（指定介護予防通所介護）事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 3 やすらぎデイサービスセンター指定通所介護（指定介護予防通所介護）事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 4 大谷デイサービスセンター指定通所介護（指定介護予防通所介護）事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 5 平成 26 年度資金収支補正予算（案）について【同意】 6 平成 27 年度事業計画（案）について【同意】 7 平成 27 年度資金収支予算（案）について【同意】 【成果】 4 回の理事会を開催し、社協の運営に係る審議を行い、法人の健全経営や地域福祉事業を効果的に推進することができました。

事業名	内 容
評議員会の開催	【概要】地域福祉の担い手としてふさわしい事業を進めるため、評議員会を中心として事業の推進を図りました。 ① 平成 26 年 5 月 28 日（水）午後 1 時 30 分 出席者 評議員 23 名【現員数 33 名】 理事 3 名 監事 2 名 1 平成 25 年度事業報告及び収支決算について【承認】 2 平成 26 年度資金収支補正予算（案）について【議決】 3 補欠理事の選任について【選任】
	② 平成 27 年 1 月 29 日（木）午後 1 時 30 分 出席者 評議員 24 名【現員数 32 名】 理事 3 名 監事 1 名 1 補欠理事の選任について【選任】 2 定款の一部を変更する規程制定について【議決】 3 平成 26 年度補正予算（案）について【議決】
	③ 平成 27 年 3 月 27 日（金）午後 1 時 30 分 出席者 評議員 24 名【現員数 32 名】 理事 3 名 1 資金収支補正予算（案）について【議決】 2 平成 27 年度事業計画（案）について【議決】 3 平成 27 年度資金収支予算（案）について【議決】 【成果】3 回の評議員会を開催し、社協全体の事業に係る審議を行い法人の健全経営や地域福祉事業を効果的に推進することができました。
監査会の開催	【概要】理事の業務執行状況及び法人の財産の状況について監査会を実施しました。 ①平成 26 年 5 月 18 日（日）、19 日（月） 1 平成 26 年度理事の業務執行状況及び事業並びに決算監査について ②平成 26 年 6 月 24 日（火） 1 市社協事業所及び施設の視察 ③平成 26 年 11 月 12 日（水）、13 日（木） 1 平成 26 年度上半期理事の業務執行状況及び事業並びに中間監査について 【成果】理事の業務執行の状況及び法人の財産等の状況についての監査において、事業の健全経営を図ることができました。

【1】会員数（会費）

一般会費	1 5, 2 2 4 世帯	4, 5 6 7, 2 0 0 円（前年比 9 6. 2 5 %）
賛助会費	2, 5 4 4 世帯	2, 5 9 9, 0 0 0 円（前年比 9 9. 1 9 %）
特別賛助会費	4 3 法人・5 個人	4 5 5, 0 0 0 円（前年比 1 0 2. 2 4 %）
団体会費	1 5 団体	4 5, 0 0 0 円（前年比 1 0 7. 1 4 %）

【2】役員・評議員

理 事	1 6 名	平成 2 7 年 3 月 3 1 日現在
監 事	3 名	〃
評議員	3 2 名	〃（欠員 1 名）

平成26年度 会費納入及び助成金交付状況

平成27年3月末現在 (単位：円)

地区社協	納入			合 計	交 付			給食 サービス	小ネット	合 計
	一般会費	賛助会費	特別賛助会費		活 動 費 助 成					
					一般会費	賛助会費	特別賛助 会費			
西	550,200	358,000	20,000	928,200	183,400	107,400	4,000	294,800	0	294,800
	1,834	357	2							
上	419,100	569,000	95,000	1,083,100	139,700	170,700	19,000	329,400	190,800	520,200
	1,397	563	12							
中央	105,000	0	0	105,000	35,000	0	0	35,000	39,600	74,600
	350	0	0							
魚町	84,000	56,000	0	140,000	28,000	16,800	0	44,800	0	44,800
	280	52	0							
南町・柏崎	33,000	49,000	70,000	152,000	11,000	14,700	14,000	39,700	0	39,700
	110	49	7							
南	79,800	40,000	20,000	139,800	26,600	12,000	4,000	42,600	0	42,600
	266	27	2							
鹿折	0	181,000	30,000	211,000	0	54,300	6,000	60,300	0	60,300
	0	177	3							
松岩	581,100	499,000	60,000	1,140,100	193,700	149,700	12,000	355,400	17,700	381,200
	1,937	491	6						8,100	
新月	405,000	461,000	90,000	956,000	135,000	138,300	18,000	291,300	0	291,300
	1,350	452	9							
階上	215,400	0	0	215,400	71,800	0	0	71,800	25,500	97,300
	718	0	0							
大島	281,100	139,000	30,000	450,100	93,700	41,700	6,000	141,400	0	141,400
	937	137	3							
面瀬	360,000	229,000	40,000	629,000	120,000	68,700	8,000	196,700	34,200	230,900
	1,200	224	4							
唐桑	573,600	18,000	0	591,600	191,200	5,400	0	196,600	0	196,600
	1,912	15	0							
小泉	142,800	0	0	142,800	47,600	0	0	47,600	0	47,600
	476	0	0							
津谷	451,500	0	0	451,500	150,500	0	0	150,500	0	241,853
	1,505	0	0						91,353	
大谷	285,600	0	0	285,600	95,200	0	0	95,200	0	95,200
	952	0	0							
合計	4,567,200 15,224	2,599,000 2,544	455,000 43法人5個人	7,621,200	1,522,400	779,700	91,000	2,393,100	307,800	2,800,353

※下段は加入者数
※団体会員 15団体 45,000円

2. 地域福祉事業

事業名	内 容
地区社協会長会議の開催	【概要】住民参加による地域福祉活動の推進を図るため、会長会議を開催し、情報交換等を行いました。 ① 平成 26 年 7 月 2 日（水） - 平成 26 年度会費の取りまとめ方について （仮称）気仙沼市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進連絡会議要綱に基づく推進連絡会議設置の承認について - 地域コミュニティ構築支援事業について ② 平成 26 年 12 月 26 日（金） - 平成 26 年度歳末たすけあい募金の配分について - 地区社会福祉協議会活動助成配分について 【成果】地区社協間の情報交換や情報提供を行い、相互の活動状況把握ができました。また地域福祉活動計画推進に向けての意見交換や、地域コミュニティ構築支援事業説明など、震災後の地域福祉再構築に向けた具体的活動の共有をすることができました。 【決算】事業活動収入 187,277 円 事業活動支出 2,287,077 円 その他の活動収入 2,099,800 円 当期資金収支差額 0 円
地域福祉活動計画の推進	【概要】第 2 期地域福祉活動計画を進めるにあたって地域住民が地域福祉活動に主体的に参画し地域を創っていく、福祉のまちづくりを推進しました。 【実績】 社協だよりによる活動計画概要の周知（6 月号、毎戸配布） 地域福祉活動計画推進連絡会議の設置と開催（2 回） 地域懇談会の開催（7 カ所 参加者 158 名） 地域福祉活動計画推進委員会の設置と開催（2 回） 【成果】活動計画推進連絡会や推進委員会を組織化し、推進体制を整備しました。また、地域住民への活動計画の具体的な説明のため懇談会を開催し、生活課題の把握と解決への取り組みができるようになりました 地域福祉コーディネーターの配置に向けて、気仙沼市と協議し、コーディネーター養成等の予算措置が図られました。 【課題】9 地区社協生活圏域で懇談会を開催できませんでした。地区社協の組織強化への支援にも着手できませんでした。 【今後の取組】地域福祉活動計画推進連絡会議及び推進委員会での計画の具体的取組みや進捗状況の把握・評価・見直し等を行うとともに、地域懇談会や勉強会の開催により計画の推進を図ります。 【決算】事業活動収入 405,002 円 事業活動支出 405,002 円 当期資金収支差額 0 円

生活相談所の運営	【概要】気仙沼地域では、社協本所相談室において、週4日（月曜日、火曜日、水曜日、金曜日）午前9時から午後3時まで開設。本吉地域では、本吉老人福祉センターにおいて、毎週月曜日午前9時30分から午前11時30分まで開設し、市民の生活上の心配ごとや悩みごとの相談事業を実施しました。 【実績】気仙沼地域：開設日数 177日 相談件数 20件 本吉地域：開設日数 44日 相談件数 14件 専門相談(介護)平成26年10月23日実施。相談件数1件 専門相談(法律)平成26年12月18日実施。相談件数4件 【成果】相談者が人に話せないことを傾聴し共感することで、前向きな気持ちになって帰られる方や、必要に応じ民生委員や関係機関に繋ぐ中間支援的な役割等により、生活相談所として一定の成果があった。また、住民の抱えている専門性が要求される相談に対応できるよう関係機関と調整し、専門相談を実施し利用された方からは好評でした。 【課題】成年後見制度に向けた相談事業の確立 【今後の取組】総合相談機能を充実させるために、関係機関と連携を図りながら、相談事業のさらなる拡充を目指します。 【決算】事業活動収入 1,574,326円 事業活動支出 1,520,326円 その他の活動支出 54,000円 当期資金収支差額 0円
小地域福祉ネットワーク活動の推進	【概要】地域の援護を必要とする方々に対し、身近な住民等ができることで支援していく活動を推進するための小地域福祉ネットワーク活動推進会議を設置します。また、地域でのネットワーク構築にあたり活動費の補助を行い整備を図ります。 【実績】小地域福祉ネットワーク活動推進会議については未設置です。 小地域福祉ネットワーク活動補助金については、2地区社協に交付し啓発活動と体制整備を進めました。 地域福祉推進フォーラム in 本吉を開催しました。 【成果】地域福祉推進フォーラムの開催により、地域社会での支えあいの構築への意識啓発の場づくりと今後の継続開催の足掛かりができました。 【課題】ネットワーク推進に向け推進会議の早期設置と、活動費の助成制度について、地区社協に対して一層の周知が必要です。また、地域でのネットワーク体制の現状を把握する必要があります。 【今後の取組】地域福祉活動計画推進委員会の中でも、小地域福祉ネットワーク活動推進を重点事項とすべきであるとの意見があります。推進会議の設置や活動補助の周知と併せ、小地域福祉ネットワーク活動のあ

	り方を検討しながら、地域の活動推進に努めます。 地域福祉推進フォーラムを今後も継続して開催します。 【決算】事業活動収入 183,044 円 事業活動支出 183,044 円 当期資金収支差額 0 円
広報紙の発行	【概要】広報紙「気仙沼市社協だより」を6回（4・6・8・10・12・2月）発行し、全戸（応急仮設住宅含む）並びに関係機関に配布しました。また、本吉地域に「本吉支所だより」を6回（5・7・9・11・1・3月）発行し、本吉地域の全戸に配布しました。情報提供とともに住民の地域福祉活動への参加を促進する啓発活動に努めました。 【成果】広報委員会で具体的な企画や紙面づくりを行うことにより、地域の福祉活動を計画的に紹介する基礎ができました。 【課題】シリーズ化したコーナーが定期的に紹介できませんでした。また、掲載記事の文字数が多いことから、目で見える情報の提供と簡潔な表現とともにページ数についても検討する必要があります。 【今後の取組】地域福祉活動を推進するための身近な情報誌として、地域のニーズや団体及び住民活動の紹介、福祉制度の周知など、わかりやすい紙面づくりに努めます。また、紙質やインクの色について検討し、イメージも変えながら、常に住民から手に取ってもらえる広報誌を目指します。 【決算】事業活動収入 2,535,252 円 事業活動支出 2,164,823 円 当期資金収支差額 370,429 円
本吉地域福祉まつり	【概要】住民が楽しく主体的に集うことにより、福祉を身近に感じ、考えてもらう場とし、さらには、地域でのふれあいと支えあいが一層深まっていくことを願って開催しました。 【実績】 日 時 6月29日（日）午前10時30分～午後3時 会 場 本吉総合体育館、本吉公民館 参加者 約500名 【成果】昨年度の反省を踏まえて暖かい時期の開催とし、さらに一日の流れを来場者の動線と併せて検討し、時間単位で午後まで集客できるイベントを組み込みながら、開催時間帯のいつ来場しても楽しめることを意識し、実行委員等から様々な提案等をいただきながら企画したことにより、とても充実した内容となりました。来場者は各コーナーを巡りながら福祉について考えたり理解を深める機会となりました。 【課題】震災後は開催時期が一定しませんでした。今年度より従来の6月最終日曜日に戻して開催したことで寒さによる集客への影響といった季節課題は解消されました。今回も住民が参加のみでなく運営に関わることができるよう繋がりづくりをすることを意識しました。

	たが、最初の準備が出遅れ短期間で企画を立案したことから運営での住民の関わりは希薄になってしまいました。今後は時間のゆとりをもちながら企画・準備を進めるという点で課題となりました。 【今後の取組】福祉教育の一環である福祉まつりは住民が様々な形で福祉に触れる良い機会となるため、参加だけでなく運営に関わることができるよう繋がりづくりをさらに意識し、計画的に実施していくこととします。 【決算】事業活動収入 2,535,252 円 事業活動支出 2,164,823 円 当期資金収支差額 370,429 円
本吉地域ひまわり会交流事業	【概要】ひとり暮らしの高齢者の孤独感解消と相互交流の場を提供することを目的にボランティア団体等の協力を得て実施しました。 【実績】 7月17日（月）参加者26人 協力ボランティア1団体 10月24日（金）参加者19人 協力ボランティア1団体 12月25日（木）参加者35人 協力本吉響高等学校 ボランティア1団体 1月23日（金）参加者30人 協力ボランティア1団体 3月13日（金）参加者32人 協力ボランティア1団体 【成果】ひとり暮らし高齢者の外出の機会になり、また、南部地域包括支援センターと連携した健康講話や幼稚園及び保育所の協力による世代間交流など多様な企画で実施しました。 【課題】昨年度と比較し参加者数は増加していますが、本吉地域の対象者も増加しており、参加率1割程度と低くなっています。 【今後の取組】近年、日中独居高齢者が増加傾向にあり、一人暮らしの捉え方に幅をもたせ、閉じこもりになりがちな高齢者の参加の機会となるようさらに事業内容や開催場所の変更等を検討し充実を図ります。 【決算】事業活動収入 866,800 円 事業活動支出 897,961 円 当期資金収支差額 -31,161 円 (前期末支払資金残高から充当)
善意銀行の運営	【概要】市民からの多様な善意の預託を受け、その善意を効果的に地域生活支援並びに住民参加による地域福祉の増進に資するよう効果的な活用に努めました。 【実績】預託 金銭 38 件 2,363,300 円 物品 13 件（ゴミ袋、タオル、雑巾、車いす、米等） 払出 金銭 97 件 2,363,300 円 物品 27 件（ゴミ袋、タオル、雑巾、車いす、米等） 【成果】寄付者の意向に沿い、地域の団体等への効果的な払い出しができました。 【課題】払い出しの際に払い出し団体へ十分な説明ができませんでした。

[illegible]

3. ボランティアセンターの運営

ボランティア相談・調整等事業	【概要】 ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアの相談・ニーズの受付・調整・派遣やボランティアの育成・啓発を推進するとともに、相互理解と互助によるボランティア活動の機運の醸成に努めました。 【実績】 研修会 1 件参加 ボランティア相談 4 件 調整 2 件 【成果】 ボランティア活動希望者の相談に応じ、ボランティアの育成・啓発の推進に努めました。 【課題】 ニーズとボランティアが希望する活動内容がかみ合わず、的確なマッチングが難しい状況です。 【今後の取組】 引き続き市民の皆さまへボランティアへの相互理解と互助によるボランティア活動の機運の醸成に努めます。 【決算】 事業活動収入 1,941,948 円 事業活動支出 2,190,552 円 当期資金収支差額 - 248,604 円 前期末支払資金残高から充当
地域ボランティア養成講座	【概要】 地域福祉活動の推進のため、様々な福祉体験学習並びに地域ボランティアの活動を通して地域福祉に関する理解を深めるとともに、ボランティア意識の啓発と福祉人材の育成を目的に実施しました。 【実績】 10 月に参加者の募集を行いました。 【成果】 参加申込者がなく開催することができませんでした。 【課題】 参加希望者の獲得が課題です。 【今後の取組】 地域ボランティアの養成講座の開催だけでは、市民に福祉に対する啓発が難しい状況にあります。市民活動団体等と連携し、広く市民へボランティアについての理解を深めるように努めます。 【決算】 事業活動収入 1,941,948 円 事業活動支出 2,190,552 円 当期資金収支差額 - 248,604 円 前期末支払資金残高から充当
ボランティア交流会	【概要】 地元ボランティア団体の交流会開催により、新たなまちづくりを共に担う仲間として、相互理解と協力体制づくりを進め福祉のまちづくりを推進しました。 【実績】 開催日 11月25日 実施場所 市民健康管理センター「すこやか」 参加人数 27名 【成果】 市内で活動するボランティア団体の活動内容の情報共有が図られました。 【課題】 団体のみの交流会ではなく、個人ボランティアやボランティアに

ボランティア活動育成事業 サービス区分より支出	興味・関心のある方にも参加していただけるような内容の検討が必要です。 【今後の取組】既存の団体だけではなく、ボランティア活動に興味のある市民の方にも広く参加していただき、ボランティア活動者の増加に繋がるよう、内容の検討を行います。 【決算】事業活動収入 1,941,948 円 事業活動支出 2,190,552 円 当期資金収支差額－248,604 円 前期末支払資金残高から充当
ボランティアスクール ボランティア活動育成事業 サービス区分より支出	【概要】障害児との交流の中で障害に対する理解を深めるとともに、ボランティア意識の啓発と福祉人材の育成を目的に開催しました。 【実績】日時 平成26年8月8日 場所 気仙沼市マザーズホーム 参加 高校生14名 【成果】発達障害に関する講話と障害児とのふれあいを通して、参加した高校生も将来を考える上で有意義なものになったようでした。また、自閉症療育を専門とするたばしね学園の職員と相談の場を設けることができたため、保護者からも好評でした。 【課題】参加者の獲得に課題があります。 【今後の取組】高校生、障害児、保護者にとって有用な内容であるとともに、マザーズホームやたばしね学園等の協力者にとっても、同種の事業者として継続した関係が構築できると相乗効果が見込めます。ただ、参加する高校生の減少に伴い、実施内容の検討や事業の廃止等も視野に入れておく必要があります。 【決算】事業活動収入 1,941,948 円 事業活動支出 2,190,552 円 当期資金収支差額－248,604 円 前期末支払資金残高から充当
ボランティア保険の加入	【概要】ボランティアの方々のボランティア活動中の事故を補償するため、ボランティア保険の加入手続きを行いました。 【実績】加入者 1,362人 (前年度 1,442人) うち、ボラ保険掛金一部助成を受けた方 649人 (前年度 605人) 【成果】安心安全なボランティア活動をサポートすることができました。 【課題】他県から災害ボランティア活動に来られる方で、居住地での保険加入をせずに現地入りをする方が多く、加入に来られます。今回の震災に限らず、今後災害が発生した場合に備えて、居住地での保険加入をお願いする周知活動が必要と思われます。 【今後の取組】ボランティア活動希望者へ保険の周知及び加入促進に努めます。

4. 福祉教育

事業名	内 容
福祉教育活動費補助金交付事業	【概要】気仙沼市内の小中高等学校に対し、継続した福祉教育・ボランティア学習の支援を行うため、一校につき年額 15,000 円を上限に補助金の交付を行いました。 【実績】 補助校数 : 小学校 7 校 (前年度 7 校) 中学校 3 校 (前年度 2 校) 高等学校 2 校 (前年度 2 校) 交付金額 : 180,000 円 (前年度 165,000 円) 【成果】市内の小中高等学校に周知をしたところ、12 校からの申込みがありました。申し込み内容としては、主に高齢者福祉と障害者福祉に狙いを絞ったものが多く継続した支援ができました。 【課題】補助金を交付してから事業終了までの期間が長いことから、報告書の提出が遅れる学校があり、制度内容の周知が必要です。 【今後の取組】制度の周知と合わせ事業を継続します。
ボランティア活動育成事業 サービス区分より支出	【決算】事業活動収入 1,941,948 円 事業活動支出 2,190,552 円 当期資金収支差額 -248,604 円 前期末支払資金残高から充当
行事参加協力調整事業 (高校生ボランティア等の活動調整)	【概要】市内の福祉施設等から高校生ボランティアの派遣を依頼された際に、市内の高等学校及びボランティア団体の協力を得てボランティアを募りました。 【実績】 気仙沼支援学校 運動会 11 名 2 校 (前年度 10 名 2 校) グループホームぼらん 敬老会 施設側都合によりキャンセル 宮城県難病支援センター 医療講演会 5 名 (ボランティアフラワーメイト) おせっかい未来サポート 虹色参観日 4 名 1 校 八日町商店街振興会 八日町まつり 8 名 1 校 松峰園 松峰祭 11 名 2 校 (前年度 17 名 2 校) 気仙沼支援学校 学校祭 15 名 3 校 (前年度 24 名 5 校) 【成果】円滑な行事の運営の補助とボランティアへの活動の場の提供ができました。 【課題】高校生ボランティアの参加協力者の減少や行事直前になってからの依頼の増加があります。 【今後の取組】高校生のボランティア協力が年々減少しており、ボランティア活動についての啓発が必要であると思われます。他事業と連携し、広く市民へボランティアについての理解を深めるように努めます。
ボランティア活動育成事業	【決算】事業活動収入 1,941,948 円 事業活動支出 2,190,552 円

	当期資金収支差額－248,604 円 前期末支払資金から充当
24時間テレビ街頭募金への協力	【概要】24時間チャリティ募金活動を通して、幅広い年代層からの募金への理解を図りました。 【実績】 開催日 8月31日 募金場所 イオン気仙沼店 スーパー片浜屋はまなす店 協力者 高校生ボランティア 29名 (市内 3高校) 【成果】 市民の方々の募金へのご理解とご協力を頂きました。 【課題】 ボランティア参加者への適切な休憩・水分補給の徹底があります。 【今後の取組】 幅広い年代層に募金活動の意義を理解して頂くように努めます。
福祉教育・企業・団体への職員派遣事業	【概要】外部団体等からの福祉教育体験の依頼に基づき、社協職員等を派遣しました。実施方法については、先方の要望に応じて内容を相談の上で行いました。 【実績】 依頼団体 : 中学校、小学校 6校 (11回) 内容 : 福祉講話、高齢者体験、車いす体験、視覚障害体験、点字体験、手話等の聴覚障害体験 対応 : 社協職員、他団体職員、ボランティア 【成果】 福祉について考える良い機会になったようです。 【課題】 興味を持たせること、実践に繋げていくこと、講師の確保と手法の開発等です。 【今後の取組】 当面は現行のとおりです。
敬老作文募集事業	【概要】敬老をテーマにした作文に取り組むことで、児童が高齢者に対する理解を深め、敬老の心を培う事を目的に、市内の小学校に呼びかけ作文を募集しました。元教員、児童福祉関係者等8名に審査を依頼し、各学年毎に最優秀1点、優秀3点を選びました。 【実績】 応募学校数 17校 応募者数 75点 【成果】 作文に取り組むことを通して、児童に身近な高齢者への理解を深め、交流を促すことができました。 【課題】 低学年児童が作文に取り組みやすい、高齢者を理解しやすいテーマの設定が必要です。 【今後の取組】 今後とも児童が高齢者に対する理解を深め、敬老の心を培う事を目的に作文を募集していきます。 【決算】 事業活動収入 416,000 円 事業活動支出 346,894 円 当期資金収支差額 69,106 円

5. 資金貸付等事業

事業名	内 容
生活福祉資金貸付事業	【概要】生活資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、低所得世帯などの生活を経済的に支えるとともに、安定した生活を送ることができるよう資金貸付に取り組みました。 【総貸付件数】 75件 【実績】 緊急小口資金 2件 200,000 円 福祉資金 2件 2,986,000 円 教育支援資金 2件 4,370,000 円 【成果】宮城県社会福祉協議会、ハローワークや社会福祉事務所、民生委員等の関係機関と連携しながら、世帯の生活再建に向けた支援を行うことができました。 【課題】世帯の自立を図るための手段として貸付を行っていますが、貸付後の生活状況が把握できていないケースがあります。また、安定的な収入を得て生活の再建を図るという意味でも、就労支援といった総合的支援に取り組む必要があります。 【今後の取組】担当民生委員と連携し、世帯の生活状況の把握に努め、状況に応じてハローワークの自立支援事務所等と連携しながら、総合相談支援に取り組みます。 【決算】事業活動収入 7,989,245 円 事業活動支出 7,632,231 円 その他活動支出 449,736 円 当期資金収支差額 -92,722 円 前期末支払資金残高から充当
生活福祉資金貸付事業地域別研修会	【概要】資金貸付事業は、民生委員の相談援助活動が前提となる資金であることから、貸付事業の課題や不安等を少しでも解消できるよう民生委員を対象に地域別研修会を開催しました。 【実績】平成26年6月17日～平成26年6月27日の間の4日間 【成果】制度の内容や宮城県社協、気仙沼市社協、民生委員それぞれの役割を説明したことで、これまで抱いていた疑問や不安を少しでも解消することができました。 【課題】意見交換等から、引き継ぎの仕方等について、新たな課題も得たことから、課題解決に向けた取り組みを進めます。
生活福祉資金督促相談会	【概要】生活福祉資金滞納者を対象に、生活状況の確認と今後の返済について借受人と相談するため、宮城県社協と共に相談会を開催しました。 【実績】平成26年10月24日～11月7日の間の4日間 出席者数16世帯17名 【成果】世帯の状況を把握することができ、償還への意識づけができた

	した。 【課題】償還金が滞っている背景には、多種多様な生活課題を抱えていることが多く、償還したくても償還できずにいるケースが多い状況です。
生活安定資金貸付事業	【概要】低所得世帯に対し、緊急に必要な生活資金の貸付を行うことにより、その世帯の自立更生を援助し、生活の安定に資することを目的とし、小口の貸し付けを行いました。また、所在不明の借受者については、住民票調査等を行い貸付金の回収に努めました。 【総貸付件数】78件 【実績】6件 300,000円 【成果】生活福祉資金に該当せず、かつ緊急に貸付の必要が生じた世帯に対し、迅速に対応し、世帯の生活安定を図ることができました。 【課題】徴収不能な債権もあることから、債務整理を行う必要があります。 【今後の取組】債務整理を行うための運営委員会を開催します。 【決算】事業活動収入 502,959円 事業活動支出 310,128円 その他の活動収入 46,610円 その他の活動支出 37,641円 当期資金収支差額 201,800円

(震災対応事業)

生活復興支援資金貸付事業	【概要】東日本大震災により被災した低所得世帯に対して、当面の生活費や転居費用、住宅補修費等の必要な経費を貸付するものです。 【総貸付件数】51件 【実績】なし 【課題】震災から4年が経過したことで、貸付要件である震災に起因したものであるかどうかの判断が難しく、要件から外れるケースが多くなっています。 【今後の取組】他の資金で対応が可能かどうかの判断を宮城県社協と連携しながら速やかに行い、世帯の更生が図られるよう必要な情報提供と資金の貸付を行います。また、償還が開始されていることから、民生委員と連携しながら債権管理の強化を図っていきます。
特例緊急小口資金貸付事業	【概要】東日本大震災により被災された世帯で、当面の生活費を必要とする世帯に対し、震災対応の特例措置として緊急小口資金を貸付するものです。 【実績】平成23年5月を以て貸付は終了。 【成果】事業終了のため特になし。 【課題】償還期限経過している滞納者への対応が必要です。 【今後の取組】宮城県社協と連携しながら債権管理の強化を図っていきます。

6. 援護活動

事業名	内 容
災害見舞金等贈呈事業	【概要】住宅火災に対して世帯状況により災害見舞金を贈呈しました。 【実績】 5件 230,000円 25年度発生分 2件 26年度発生分 3件 【課題】社会福祉事務所からの情報を基に、贈呈をしていることから速やかな判断が必要と思われます。 【今後の取組】出火原因の証明の取得方法を検討しながらより迅速に見舞金として対応できるよう努めます。 【決算】事業活動収入 2,535,252円 事業活動支出 2,164,823円 当期資金収支差額 370,429円
歳末たすけあい募金配分事業	【概要】住み慣れた地域で暮らしていくために必要な様々な支えあい活動が展開できるよう、地区社協や地域活動団体等へ募金を配分しました。 【実績】配分委員会：平成26年12月25日開催 配分額合計：6,894,422円 (内訳：募金 3,394,422円、市補助金 3,500,000円) 【成果】在宅長期寝たきり者と長期入院者へ配分したほか、地区社会福祉協議会が実施する福祉活動への助成配分、障害福祉施設等への活動助成配分と新入学児童への安心・安全の支援へ配分しました。 【課題】個別対象者への見舞金としての配分を実施しましたが、在宅長期寝たきり者と長期入院者への配分だけとなりました。民生委員児童委員の協力による世帯把握を実施しましたが、生活困窮世帯の情報をすべて把握することが困難な状況です。 【今後の取組】地区社協会長等より地域の状況を確認しながら、募金趣旨に沿えるような配分を検討します。 【決算】事業活動収入 6,584,422円 事業活動支出 6,360,082円 当期資金収支差額 224,340円
交通・海難等遺児に対する就学支援費の支給事業	【概要】交通事故・海難事故・労働災害及び病死（不慮の事故を含む。）により、扶養していた父母の一方又は双方が死亡した満18歳以下の高校在学までの方に、民生委員を通じ就学支援費を支給しました。 【実績】遺児家庭 35世帯 遺児数 53名 贈呈金額 265,000円（5,000円×53名） 【成果】遺児とその家族との対面での支援を通じ、民生委員児童委員が相談しやすい環境づくりができました。 【課題】民生委員の改選等により対象児童がいる地区において、民生委員の欠員が出た場合の支援のあり方について検討する必要があります。 【今後の取組】当面は現行通り支援を行っていきます。

	【決算】 事業活動収入 31,413 円 その他の活動収入 6,480,664 円	事業活動支出 337,592 円 その他の活動支出 6,181,651 円 当期資金収支差額－7,066 円 前期末支払資金残高から充当
--	---	---

7. 生活支援・障害福祉事業

事業名	内 容
日常生活自立支援事業	【概要】 宮城県社会福祉協議会から完全委託となり、基幹型社協として気仙沼市・南三陸町の圏域を担当しました。利用者の通帳・印鑑等管理のほか、利用者との契約及び財産管理、金融機関との代理人届け、研修等の事業実施をしました。また、管轄地域が広域化したため、適切なサービスを提供できるよう南三陸町社協と、一部事務委託契約を取り交わして支援しました。 【実績】 利用者 67 名（うち認知症 31 名、知的障害 17 名、精神障害 13 名、その他 6 名） 通帳 95 冊、印鑑 71 本 預り 【成果】 書類管理や諸手続きの代行、金銭の管理をすることで、公共料金や家賃等の滞納問題が解消されました。また、身内からの財産搾取等の虐待ケースも多く、関係機関と連携しながら、財産保全をすることで、本来の生活を送ることができる等、一定の成果を上げました。 【課題】 判断能力が無くなったときの体制が整備されておらず、成年後見制度が必要でありながら、後見受任者不足のため、事業の対象にならない方をサポートしている状況にあります。また、国庫補助事業であるものの、財源の確保が厳しい状況にあります。 【今後の取組】 住み慣れた地域で生活をしていくうえで、判断能力が十分でない方のサポートは必要不可欠である。本事業だけでは、完全なサポートはできないことから、関係機関と連携しながら事業の適切な運営に努めていきます。 【決算】 事業活動収入 9,408,865 円 事業活動支出 8,283,770 円 その他の活動支出 38,100 円 当期資金収支差額 1,086,995 円
フードバンク事業	【概要】 企業からみやぎ生協に寄せられた食料品等の提供を受け、何らかの理由により一時的に生活困窮に陥った世帯（失業、生保受給までのつなぎ等）に対し、食料等を支給し緊急時対応の支援を行いました。他に社協で実施するお茶会などの交流事業にも活用しました。 【実績】 フードバンクからの提供回数 5 回、 提供品数 170 品 支援実施回数 5 回 【成果】 一時的な緊急支援としては一定の成果がありました。

	【課題】賞味期限等による在庫管理、ライフライン不通時の活用、長期の生活支援の対応には難しい面も見られます。 【今後の取り組み】生活困窮者自立相談支援事業の開始により、潜在化していた困窮世帯が掘り起こされることから、他の機関と連携しながら事業の適切な運営に努めます。
視覚障害者ハイキングの実施 障害者福祉活動事業サービス区分から支出	【概要】外出の機会の少ない視覚障害者を対象に、運動機能低下の抑止、交流、気分のリフレッシュ等を目的に、地域の地元団体や介添ボランティアの協力を得て、ハイキングや体験活動を行いました。 【実績】実施日 平成26年7月6日 行き先 みちのくあじさい園（一関市） 参加人数 視覚障害者15人、介添ボランティア18人 【成果】昨年より多くの方々に参加をいただき、山を切り開いて造られた園内を自由散策し、楽しく話をしながら思い思いの時間を過ごすことでリフレッシュできたようでした。 【課題】視覚障害者と介添ボランティアの組み合わせ次第で、個々に満足度が異なるようでした。 【今後の取組】今後も同様の方法で実施します。 【決算】事業活動収入 104,350 円 事業活動支出 86,350 円 施設整備等収入 1,029,000 円 施設整備等支出 1,029,000 円 当期資金収支差額 18,000 円
ガイドヘルパー派遣事業 障害児者福祉活動事業サービス区分から支出	【概要】視覚障害者の社会参加を支援し、視覚障害者の社会生活範囲の拡大と福祉の増進を図ることを目的に、視覚障害者介添人の派遣を行いました。 【実績】活動延人数 64人 (前年度 33人) 依頼件数 56件 実人数 5人・2団体 (前年度 23件) 【成果】個人利用では通院、団体利用では会議や行事などを中心に利用がありました。 【課題】新しい利用者の獲得及びニーズに対するサービスのあり方の再検討が必要です。 【今後の取組】当面は現行のとおりです。 【決算】事業活動収入 443,700 円 事業活動支出 246,134 円 当期資金収支差額 197,566 円
録音サービス事業	【概要】地域のボランティアである「朗読奉仕あいの会」や「朗読奉仕会」・「響高校生徒」の協力を得て、「広報けせんぬま」・「社協だより」等を朗読録音し、市内の視覚障害者の方へ送付しました。 【実績】発行回数 気仙沼 24回 利用者数 24人 本吉 24回 利用人数 7人 【成果】視覚障害者の方へ、スムーズな情報提供ができました。また、